

# 立雲寺だよりの発行が始まります。

vol. 01

令和3/春



# 立雲寺 だより



## 林 永清

はやし・えいしん  
副住職。昭39年生。  
立正大学在学中、新  
宿常円寺にて2年間  
修行。日蓮宗大荒行  
堂第三行成満。

## 林 永祥

はやし・えいしょう  
住職。昭35年生。  
平成16年より立雲  
寺住職を勤める。日  
蓮宗大荒行堂第初行  
成満。北海道西部修  
法師会副会長。

## 林 光汰

はやし・こうたい  
徒弟。平5年生。  
立正大学在学中、新  
宿常円寺にて6年間  
修行。日蓮宗大荒行  
堂第初行成満。

「何」も始めるのに遅いとい  
うことはない」とはよく  
言ったものですが、  
ニュースでも雑誌でも本でもイ  
ンターネットですぐに読める時  
代に、今更ながら「立雲寺だより」  
の発行を始めます。春夏秋冬、  
年に4回の発行を予定しており  
ます。  
内容は、お寺でしているご供  
養やご祈祷、様々な行事のこと、  
そもそもお寺でやっているあれ  
はどういう意味でやっているの  
の？といった素朴な疑問から、  
日常で使える仏教の教えなど  
です。お釈迦様や日蓮聖人が教え  
てくれた、日頃私たちがイキイ  
キと生きていく上で大切な考え  
方を「立雲寺だより」を通して  
一緒に学ぶことができれば幸い  
です。  
昨年末に立雲寺のホームペ  
ジやインスタグラム・フェイス  
ブックを開設したのは、お寺の  
取り組み、仏教や日蓮宗の教え  
を発信し、それを見た方が仏教  
や祈りの世界を知り、少しでも

## 春号もくじ

- 1 立雲寺だより発行
- 2 鬼子母神祭
- 3 行事報告 (2月~4月)  
行事予定 (5月~7月)
- 4 写経会・限定御朱印
- 5 お寺の図書館開設
- 6 教室案内  
学びの時間

元気になればいいなという思い  
からでした。それらを見て頂い  
た方からは「お寺の事を知れて  
嬉しいです。」「応援しています。  
等のお声を頂き、活力となつて  
います。ありがとうございます。  
しかしながら、立雲寺ホーム  
ページを見られない方もいらつ  
しゃいます。住職や副住職もス  
マホやパソコンとにらめっこを  
しながら日々格闘しています。  
そんな方々にもお寺からの発信  
を手軽に見られるよう、また雑  
誌を読む感覚で気軽に楽しみな  
がらお寺や仏教に触れることが  
できるよう、「立雲寺だより」を  
作っていかうと思っております。



〒050-0086  
北海道室蘭市大沢町 2-4-1  
TEL (0143)44-4306  
MAIL [ritsuunji@gmail.com](mailto:ritsuunji@gmail.com)

立雲寺公式サイト



# 鬼子母神 の いわれ

ては幼児を誘拐し殺しては食べ  
てしまう鬼女がいました。恐れ  
嘆いた人々はお釈迦様に救いを  
求めました。

お釈迦様は鬼女の子供のうち  
未っ子をそつと隠しました。鬼  
女は子供を必死で探しましたが  
見つからず、悲しみと苦しみが

## 鬼

子母神の発祥は古代イン  
ドに遡ります。昔、イン  
ドの王者城という町に來

6 / 6  
(日) 13時～

# 鬼子母神祭



法華經のご守護神、安産・子育て  
(こやす)の神様として広く親  
しまれてきた鬼子母神と七面大  
明神の大祭です。  
子どもがすくすくと育つよう、  
また日々の平穩を願い、鬼子母  
神様のご加護をいただいてご祈  
禱をします。ぜひお詣りしま  
しょう。



七面大明神様も  
ご祈禱します。

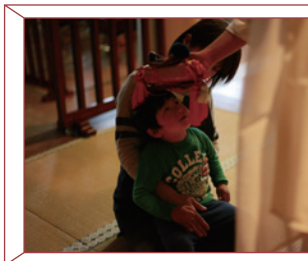
## 法楽莊嚴祈願

自宅の鬼子母神様に  
より一層のご加護を祈る。

自宅の仏壇に祀っている鬼子母神様・七面大明神様の掛け軸に多数の経力をいただき、より一層ご加護を受けます。

また、立雲寺の鬼子母神様の掛け軸もあります。

祈禱料 …… 一幅 2,000 円  
新規 …… 一幅 5,000 円 (祈禱料込)



祈願者に鬼子母神  
お守りを授与。

## 取子祈願

子供が健康にのびのびと  
育つように。

0歳～20歳までの間、無事過ごせるよう鬼子母神様にお願いし発育増進・智慧明瞭・身体安全の祈願をたてます。祈願後は鬼子母神お守りを授与します。御宝前に本人の札を置き、1年間毎日読み上げし祈願します。

祈願料(1年間) …… 1万円



祈願者に身かわり  
守りを授与。

## 年中特別祈願

祈願を立て  
自身の志の成就を願う。

身体に自信のない方、心の不安定な方、病気・怪我がちの方、志の成就を願う方の祈願を立て、お札を本堂にお預かりし、1年間毎日祈願回向をして皆様と共に成就を願うものです。(身体健全・家内安全・当病平癒等)

祈願料(1年間) …… 3万円



立雲寺の鬼子母神は、第2代住職林立祥上人が大荒行堂に入行した際に開眼されました。

日蓮聖人は、法華經陀羅尼品に説かれる鬼子母神と十羅刹女を深く信仰しました。日蓮宗大荒行堂(中山法華経寺内)の読經するお堂には2m程の荒行願満鬼子母尊神が安置されていま

す。(一般には秘藏)

らお釈迦様に救いを求めました。お釈迦様は「お前は一人の子を失って苦しんでいるが、これまでお前の食べた子は何百何千、その子らを失って苦しんだ親兄弟は何千何万である。」と言いました。これを聞いた鬼女は子の貴さを痛感し、お釈迦様の弟子になり、法華經と、法華經を信じる者、そして全ての子供を守る誓いを立てました。お釈迦様は子供を返し、鬼女は慈悲心あふれる鬼子母神となりました。

こうして鬼子母神は今でも法華經の守護神・安産・子育ての神様として篤く信仰されています。また鬼子母神はよく右手にザクロを持っています。ザクロは実の中に沢山の種を持つことから、子孫繁栄を表すものであるためといわれています。

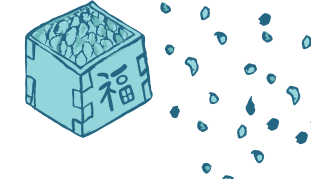


### 3月 春季彼岸会

3月20日の春分の日に彼岸会法要を厳修しました。彼岸（心の浄土）へ到達するため、先祖への報恩感謝を表す法要となりました。



### 2月 節分析禱会



## 報行 告事

二月  
～  
四月

2月4日の節分析禱会。例年多くの方にご参拝いただいておりますが、今年は感染症対策のため僧侶のみで水行・法要・祈禱行いました。お札・肌着ひとつひとつにご祈禱をし、厄除けやご祈願いたしました。「厄除け」や「祈願札」のお申し忘れの方は、ご相談ください。

### 水神祭 4月

4月13日の水神祭及び13日講。水神明王大菩薩は、日持上人像の横に祀られております。水は全ての生命の源泉であり、人の生活に恵を与える神様です。



南無水神菩薩

### 5/13 13時半～ (木) 馬頭祭 (13日講)

馬頭観世音菩薩は動物霊を救い、また交通安全の神様です。

南無馬頭観世音菩薩

午後1時半より。境内の馬頭観世音菩薩の前にて読経・祈禱。本堂にて法要・祈禱・法話。



### 13時～ 6/6 (日) 鬼子母神祭

午後1時より。詳細は2ページをご参照ください。



ご参拝の方皆さまにご祈禱をします。(今年は感染症対策で撰経は当てません。)

### 5月～7月 予行定事

お檀家さんでない方の参加も可能です。写経会やご祈禱など、お知り合いの方にご参拝下さい。

### 7/13 (火) 13日講 (写経会)

12時～写経会  
13時半～法要



13日講の法要の前、12時より写経会を行います。写経会に参加した方は、13時半からの13日講の法要にてお名前を読み上げ、「心願成就」のご祈願をいたします。(納経料1000円) 詳細は4ページ参照。

写経会に参加された方に納経の証として「写経会特別御朱印」を授与します。




### 写経会参加方法

- 要予約（前日の7/12まで）  
お電話、FAX、又はメールにて  
【お名前・参加人数・連絡先】をお伝え下さい。
- 持ち物  
特になし。（写経用具は貸出します）  
※使い慣れている筆があればお持ち下さい。
- 納経料  
1,000円  
(別紙ご案内も参照下さい。)

**当日の流れ**

- 11:45 受付開始
- 12:00 写経説明
- 12:10 写経(約30分)
- 12:40 法話(約10分)
- 12:50 終了・休憩
- 13:30 13日講法要
- 14:30 住職法話
- 14:45 終了

# 写経会のご案内



7月13日(火)12時～

写経で自分の中の  
仏の心を磨きましよう

十三日講での仏道修行として、写経会を行います。  
写経はお釈迦様が示された修行の一つとして古来より行われてきました。法華経には、写経により気持ちが落ち着き自分の中の仏の心が磨かれ、大願を成就できると説かれています。  
字の上手い下手は関係ありません。作法や心構えを説明しますので、初めての方もどうぞ安心してご参加ください。  
また、ご参加いただいた方には「納経の証」として「写経会特別御朱印」を授与し、同日十三時半からの十三日講の法要にてお名前を読み上げ、「心願成就」のご祈願をいたします。

参加された方に「納経の証」として、「写経会特別御朱印」を授与いたします。(書き置きのもの)



お檀家さん以外の方も参加可能です。写経をしたい方と一緒にご参加下さい。

### 6・7月限定御朱印

#### 「鬼子母神」

頒布期間 6/1～7/31 志納金 500円

6月8日の鬼子母神祭に合わせ、鬼子母神様と「子孫繁栄」を表す果実であるザクロがモチーフです。



### 4・5月限定御朱印

#### 「花まつり」

頒布期間 4/1～5/31 志納金 500円

4月8日はお釈迦様ご降誕の日。生まれてすぐ「天上天下唯我独尊」と宣言されたいわれがモチーフです。




**御朱印のもらい方**  
ご来寺を予約の上、御朱印帳をお持ちになり、寺務所をお訪ね下さい。  
※御朱印帳がない方も、書き置きでお渡しできます。  
御朱印帳への直書きをご希望の方は、お電話・FAX・メールにて事前予約をお願いします。予約がなく、法務により僧侶が不在の場合、御朱印帳をお預かりし後日受取、後日郵送、書き置きのお渡しのいずれかとなります。

通常御朱印も頒布中です。(志納金300円)

4月より / 限定御朱印 始めました。

お寺や仏教の行事に合わせてデザインした期間限定の御朱印です。





# お寺の図書館

開設しました。



## 本の借り方・返し方

### ○貸出

- ・本棚横にある「貸出カード」に「日付・借りる本・名前・住所・電話番号」を記入し寺務所にお持ち下さい。
- ・お一人2冊まで、2週間借りることができます。

### ○返却

- ・寺務所にご返却下さい。
- ・期間内に返却できない場合はご連絡下さい。



ジャンルは様々。仏教に関する本は多めです。

## 「お寺の図書館」で新たな発見を。

「お寺の図書館」を本堂廊下の本棚にて新たに開設しました。お檀家さんから寄贈していただいた本や、もともとお寺にあってた本が、沢山の人の読まれたらいいなという思いからです。ご参拝に来たときや教室に来たときに立ち読みするのもよし、借りて家で読むのもよしです。所蔵されている本は、「お寺の図書館」という名前の通り、仏教やお寺、日蓮宗など仏教的な考えやエッセンスが詰まった本や死生観に関する本、宗教や哲学の本は多いです。また小説などの文芸、生活に関する実用書、漫画まで幅広くあります。今後、も様々な本を増やしていく予定です。

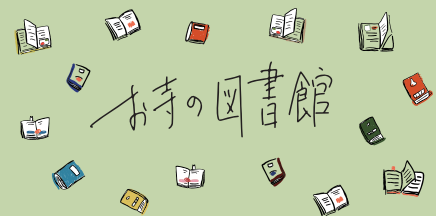
また、こども向けの本や絵本も沢山あるので、お子さまやお孫さんとお寺に来たときに好きな本を探してみるのもいいでしょう。普段本屋に行く人も「お寺の図書館」で新たな発見があるかもしれません。

借りる際は、「日付・借りた本・名前・住所・電話番号」を書いていただき、寺務所にお渡し下さい。返却期間は二週間です。

ブッダの「やさしく、正しく、つよい心」の育て方が書かれたこどもも大人も学べる一冊。こども向けにイラストやふりがな付。保護者向けの解説やブッダの言葉も書かれています。どれも簡単なようでも実践するのは難しいですが、日々必要な心がけはこどもも大人も一緒です。その積み重ねが仏教の実践・修行と言えらと思います。(光汰)



『ブッダがせんせい』  
宮下真 著／仏教伝道協会



今季の一冊

立雲寺「お寺の図書館」にある本の中から一冊、おすすめの本を紹介します。

**俳** 人・萩原井泉水さんの隨筆に豆腐菩薩というものがああります。これがなかなか味わい深いので紹介します。豆腐の偉いところ

「その一」豆腐自身は味が淡泊で他の素材と比べると主張がないが、だからこそ相手を選ばない。どの料理の中に入れても調和する。相手を活かすと共に己を活かす。つまり我欲がない。

「その二」見た所、四角四面の仏頂面だが、頑固なわけではない。柔らかいこと申し分なく、しかも身を持ち崩さないだけの締まりを持っている。どんなに切られようが本来の面目を失わない。

# 調 寺ヨガ guna



お寺の凜とした空間で心と身体を調える。

お寺の本堂で行うヨガです。(冬季期間は3F広間) 初心者向けのヨガなので、身体の硬い方・初めての方も大丈夫です。ヨガの呼吸で心と身体が調えましょう。

<b>朝ヨガ</b> (60分) 第2・4日曜日 8:45~	<b>昼ヨガ</b> (60分) 第1・3金曜日 10:30~	<b>夜ヨガ</b> (60分) 毎週木曜日 18:45~
---	--	--

※お寺の都合で変更・中止することがあります。

参加費 (ハーブティー付)	1,000円
マットレンタル	200円



林南歩 (はやし・なほ) / 全米ヨガアライアンス RYT200 取得。インドでヨガの修行を積んだ師の元、資格を取得。

お問合せ TEL 080-9610-1030

## 教室案内

### 公文書写教室 書



楽しく書写を学び  
美しい文字を書く人に。

立雲寺3F広間にて、公文書写教室が開催されております。【ペン習字】【かきかた】【筆ペン】【毛筆】の4教科。子どもから大人まで沢山の方が楽しく書写を学んでいます。文字を書く楽しさは心の豊かさに繋がります。

<学べる教科>

- ペン習字
- かきかた
- 筆ペン
- 毛筆

無料体験 実施中 /

5月 17日 / 24日 / 31日 (月)

11日 / 18日 / 25日 (火)

詳細は下記の連絡先まで

講師 林香織 (はやし・かおり)  
お問合せ TEL 090-5079-0747

## 学びの時間



第1回

### 「トーフは偉い！」

文・林永清

林永清 (はやし・えいしん) / 立雲寺副住職。令和3年5月より「立雲寺だより」にて一口法話「学びの時間」を連載開始。

「その三」湯豆腐から冷奴、油揚げ、凍り豆腐等々、様々に身を變じて我々の生命に施してくる事は、観音様が三十三に身を變じて我々を救ってくれる功德を思わせる。

「その四」豆腐は生まれながらにしてこの徳を身につけたのではない。豆腐は本来、豆の姿をしている。それが重い石臼に挽かれて細かい袋の目をくぐって出てくる。苦労してきたのだ。難行苦行を経て大成した豆腐だから、悟りの境地に達しているのも偶然のことではない。

豆腐ってこんなに偉いのです。見習いたいものです。 拝

### 後編 記集

息子の光汰が結婚しお嫁さんを迎えました。「嫁に来て三十年」私がお寺に来た頃、義母に言われたことを思い出します。いつの間にか、あれから三十三年が経ち、あの時の義母を追い抜かしてしまいました。まだ土間のストーブで炊事をしていた時代の三十年には足元にも及ばない平成の三十年ですが、私は何かを得て成長出来ているだろうか。自分に問う日々です。

良くも悪くも最強(笑)だった義母は毎日お参りをし、手を合わせる信心深い人でした。その意志を見習い、引き継いでいこうと思います。

(恵)